生活の設計（1933）

DESIGN FOR LIVING

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 90分
初公開日 1934/04
公開情報 劇場公開

【解説】

離れ難き三角関係を生きるモダンな女一人男二人の物語。原作はＮ・カワードの戯曲。言葉遊びに満ちた台詞が上手いことインモラルな彼らのあり方を稀釈し、通りをよくしているが、映画化にするに当たっての工夫がヘクトの脚本にはもっとあって然るべきだった。が、冒頭の三人の出会いの粋な描写、ラスト近くの彼女を“救出”に来た男二人が巻き起こす乱闘を音だけでまるで“見せない”ところなど、ルビッチ・タッチを逆に強く意識させもしよう。南仏からパリへ向かう列車の個室。眠っている劇作家のトム（マーチ）と画家のジョージ（クーパー）の向かいに座る広告デザイナーのジルダ（ホプキンス）は彼らをスケッチする。そして眠り込む彼女の画帖を、目覚めた彼らが覗き見ると、何と自分たちの姿が。やがて意気投合した三人は共同生活に入るが、双方ともＳＥＸはご法度の紳士協定を結ばせるジルダ。トムの戯曲は彼女の影の功労でロンドン上演を決める。彼がそのため留守にした隙に、ジョージは禁を破ってジルダを誘惑。肖像画家として成功した彼は高級アパルトマンに彼女と共に引っ越した。そこへロンドンから戻ったトムが訪れ、帰宅が早まったジョージと鉢合わせた末に大喧嘩。逃げ出したジルダは会社のボスのマックス（ホートン。いつもこんな損な役回りをおっとりと品良く演じた名優だ）とＮＹで結婚してしまう。もちろん、傍若無人な彼らがそのまま泣き寝入りするはずはなく……。ヒロインに扮するホプキンスは神がかったコケットリーを発揮し、情にもろい魅力的なニンフを天真爛漫に演ずる。彼女は二人の男を悩ます堕天使でもあるが、彼らを芸術家として見事飛翔せしめる美神（ミューズ）でもあるのだ！

【クレジット】

監督	エルンスト・ルビッチ	Ernst Lubitsch
原作	ノエル・カワード	Noel Coward
脚本	ベン・ヘクト	Ben Hecht
撮影	ヴィクター・ミルナー	Victor Milner
出演	ゲイリー・クーパー	Gary Cooper
	フレドリック・マーチ	Fredric March
	ミリアム・ホプキンス	Miriam Hopkins
	エドワード・エヴェレット・ホートン	Edward Everett Horton
	フランクリン・パングボーン	Franklin Pangborn
	イザベル・ジュウェル	Isabel Jewell
	ジェーン・ダーウェル	Jane Darwell

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.